

公設児童クラブの運営体制について

令和7年11月4日

1. 検討方法

- 児童クラブの希望者は年々増加。取り巻く環境なども変化。
- 人材確保などを理由に継続が困難という意見が寄せられている。

【検討方法（全体会資料抜粋）】

（１）現状や課題把握のための運営委員会などへの調査

- ① 運営委員会へ状況等の調査
 - ② 働く支援員等に業務改善に関するアンケート
～あわせて～
- 利用者（児童・保護者）へのアンケート

（２）持続可能な運営体制についての検討

他市事例の調査や市場調査などを実施し、
将来にわたり安定的に運営できる体制を検討する

(1) 現状や課題把握のための運営委員会などへの調査

① 運営委員会へ状況等の調査

【対象】各運営委員会（希望に応じ個別ヒアリングも実施）

- 職員確保の現状と今後の見通し
- 運営委員会体制への意見、感じる課題や改善要望
- 運営委員会体制での今後の運営について など

② 働く支援員などへ業務改善に関するアンケート

【対象】支援員・補助員（原則オンライン、匿名で任意）

- 負担が大きい業務や課題、それに対する改善要望
- 運営委員会体制への意見 など

～あわせて利用者の利便性やサービスの向上のため～

● 利用者（児童・保護者）へのアンケート

【対象】児童クラブを利用している児童と保護者（原則オンライン、匿名で任意）

- 現在の児童クラブについての満足度
- 今後検討してほしい事項 など

※回答は保護者主体で、こどもと話しながら回答するよう依頼

(2) 持続可能な運営体制についての検討

【他市の事例】

【兵庫県姫路市(R8年度～)】

- 公立公営の運営から、段階的に民間事業者へ移す準備をすすめている。
- 市内を5ブロックに分け、令和8年4月に1ブロックから開始予定。
- サービスの質の更なる向上と支援員等の安定的な確保を理由。

【島根県松江市(R7年度～)】

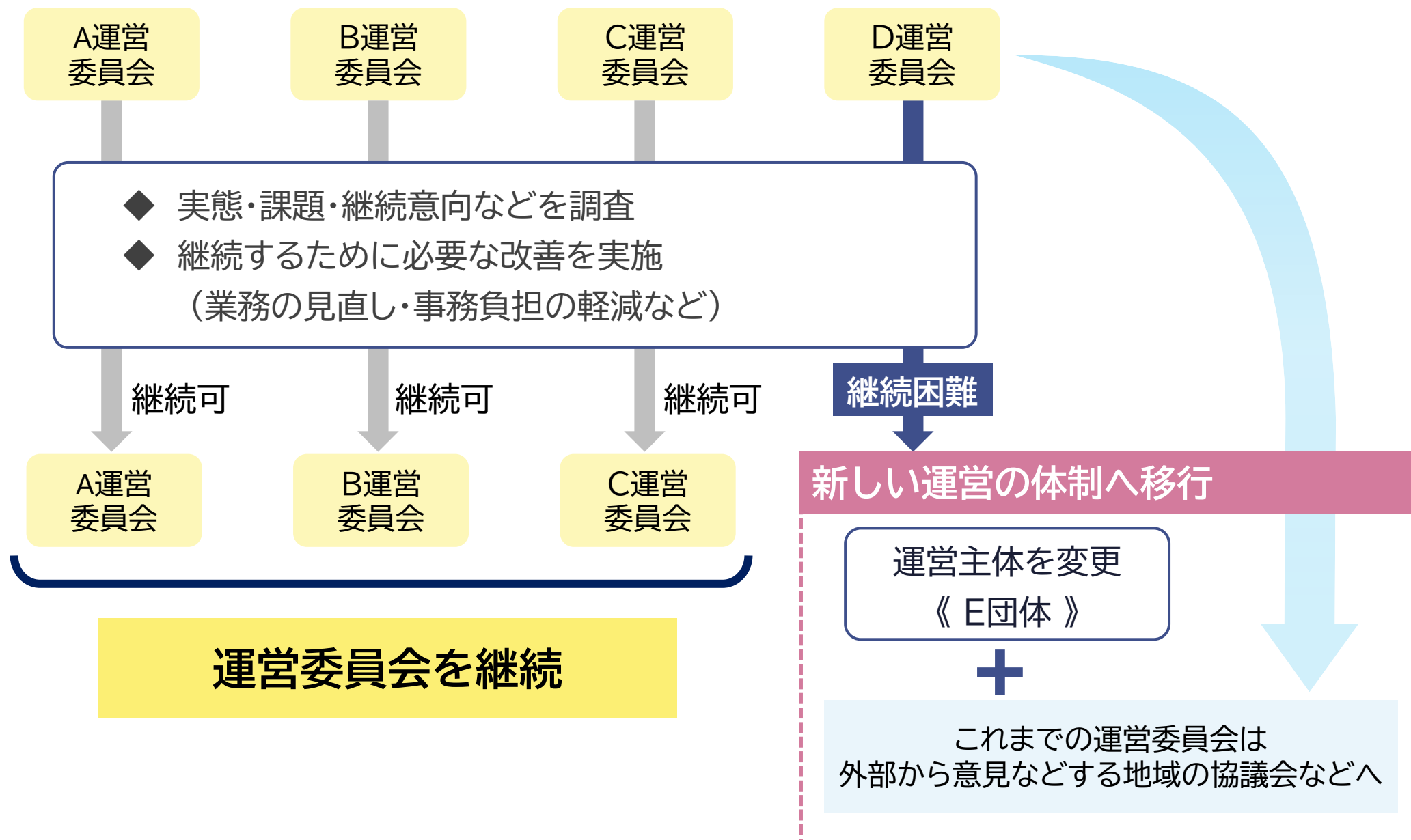
- 保護者中心の運営委員会から、一部の運営を試験的に民間事業者へ移す。
- 3年間実施して成果や課題などを抽出し、民間への意向を進めるかを判断。
- 雇用や労務管理などの負担が大きく、安定運営が危ぶまれていることが背景。

【新潟県長岡市(R7年度～)】

- 地域の推進協議会等の運営から、すべてのクラブ運営を民間事業者へ移す。
- 時間延長など地域の状況等で出来なかったが運用を統一。
- 民間事業者のノウハウを活用し、運営の質の向上を図る。

(2) 持続可能な運営体制についての検討

※他市事例（一部民間へ委託するイメージ図）



2. 検討のスケジュール

